第　６７号
令和2年10月31日
編集責任者　田邊　朋之

# 清里農連通信

発行　清里町農民連盟
清里町羽衣町2番地
TEL　0152-25-3792
FAX　0152-25-3793

## 令和2年度　町長との懇談会

10月5日コロナ禍であったが、町民会館を会場として万全の予防対策をとり町政との懇談会を行った。集団別懇談会にて要望を受けた町内対策5点を議題の中心に約2時間にわたり意見交換が繰り広げられた。内容は以下のとおりである。

**1.鳥獣被害対策について**

町による大型囲いワナの設置を引き続き要請。町は以前からの要請に対して設置実施を検討。本年度はワナの設置場所選定の為の誘因調査を実施するとのこと。地元ハンターへの聞き込みや、道のデータも活用して選定を急ぐよう要請。併せてハンターによる捕獲頭数の上限引き上げ、報奨金の見直しを要請。来年度は上限引き上げの方向であるとの回答であった。

**2.ジャガイモシロシストセンチュウ対策について**

町内での発生確認を受けて町独自の助成を要請。特に対抗植物(ポテモン等緑肥)の予防的作付に助成を依頼するが、現状では厳しいとのこと(種子確保が困難)。観光客等の農地への侵入防止に対しても協力依頼。特にTVロケには町がしっかり監視するよう要請

**3.支障木の伐採について**

3カ年計画の最終年度の為引き続きの管理を要請。また現状を確認した。

| | | |
|---|---|---|
| 実施路線 | H30　4路線 | 4,840m |
| | R1　6路線 | 4,700m |
| | R2　2路線 | 800m(現状)　予定8路線4,450m |

**4.道路整備について**

農作物出荷において重要路線である21号道路と9線道路については特に急ぐよう要請。
21号は計画進めているが、9線については流末処理と地権者との問題が解決せず進まないとのこと。

**5.国有林整備について**

南部森林署による整備事業に自治体として協力するよう依頼。冬季工事時の路線除雪等可能なかぎり協力出来るよう森林署と協議してゆくとの説明を受けた。
他に地元執行委員からの要望は以下のとおり

・江南南雑用水の水量が少なくなった問題の対応
・畑かんの受益者、水利権の問題

限られた時間での意見交換のため要請しきれない部分もありましたが、要望等ありましたら地元執行委員までお願いします。引き続き町政との協議を図ってまいります。



**書記長　坂野和弘**

## R2年度原料てん菜立会人

今年、てん菜受け入れの立会人として出役することになりました。みなさんの原料が適正に査定されているか確認する仕事です。本年度は根腐、黒根が多発してないので、掛け持ち立会といい１人が2つのパイラーを行き来して立会を行っています。

異常なタップ率、土砂率、根腐等々が規定の数値を越える原料が入ってきた時に立会人が不在の場合は一旦パイラーを停止して立会いしてから受入を開始することになります。

早期の受け入れ中に目慣らし研修会があり、実際に査定員が歩引き率を出したものをサンプルを取って実際のタップ率、土砂引きを算出したものと照らし合わせるということをしたのですが、査定員が目視で出した数字とほとんどかわらず、いい仕事をされているなと感じました。

10/23に初めての出役に行ってきました。朝6時ころから受け入れ開始し、昼休みを除いて16:30頃まで休みなく原料が運ばれてきます。

自分が立会中に根腐れを含む原料が入ってきて、一旦停止して根腐れ株の数を数え、規定の割合を越えていたので工場直送に切り換えるという場面もありました。長期の山を作っている時期だったので、根腐れ原料はシビアに見ていました。

査定員さんとお話もさせてもらったのですが、タップ率なども原料によっては悩ましいものもあるのですが、生産者にとって少しでも損のないように査定してくれているなと感じました。

一日中座ってビートをみているのは大変ですが、よい経験になりました。

**岩本 将嘉**

## 第3回デンプン工場原料受入調査視察

10月20日に第3回デンプン工場原料受入調査視察行いました。
今年は比較的天候も安定しており、受入査定も大きな変化もなく安定して適正にされているように感じました。
今年の原料貯留ビンの原料の量は、多すぎて困るという状況は少なく、常に少なめで経過しているとの事でした。
原料不足で2度の出荷協力を経て、ありがとうございましたとのことでした。
工場終了は11月10日頃（第3回視察時点）を予定しているとの事で、最終的に反収70俵きらないで終われればとのことでした。

**岩瀬　豊秀**



### 編集後記

コロナ禍中、社会現象になっている鬼滅の刃。家族を鬼にされた少年の成長と友情の旅物語です。単行本やアニメになっています。我が家でも家族で楽しんでいます。子供たちは絵を模写することに凝っていて細部まで描けるようになりました。とても集中力を高めてくれています。また家族の盛り上がる話題のひとつにもなっています。この秋、映画公開を機に家族で出かけようと思っています。コロナ禍ではありますが恐れるだけでなく、何かをきっかけとして少しづつコロナに順応した生活を模索していく時期なのではと思っています。

田邊